

小学校特別支援学級に おける国語科の実践

柏市公立学校教員 加藤郁子

1

1

学級の実態

- ・7名（2～6年生にまたがっている）。
- ・実態差が大きい。
- ・本を読むことが好きな児童が多いが、目的意識をもって文章を読み、内容を読み取る児童が少ない。
- ・実際に体験しながら行う学習には興味関心が高まりやすく、集中して学習に取り組む姿勢が見られる。

2

2

今回発表する実践

 すけっと セミナー

- ・「きつつき」R1年版 教育出版教科書教材
- ・説明文の読み取り教材
- ①教科書の内容をワークシートを使って読み取る。
- ②実際にきつつきを作りながら、作り方の説明を端末を使用しまとめる。
- ③他のおもちゃのつくりかたをまとめ発表する。

3

3

実践のポイント

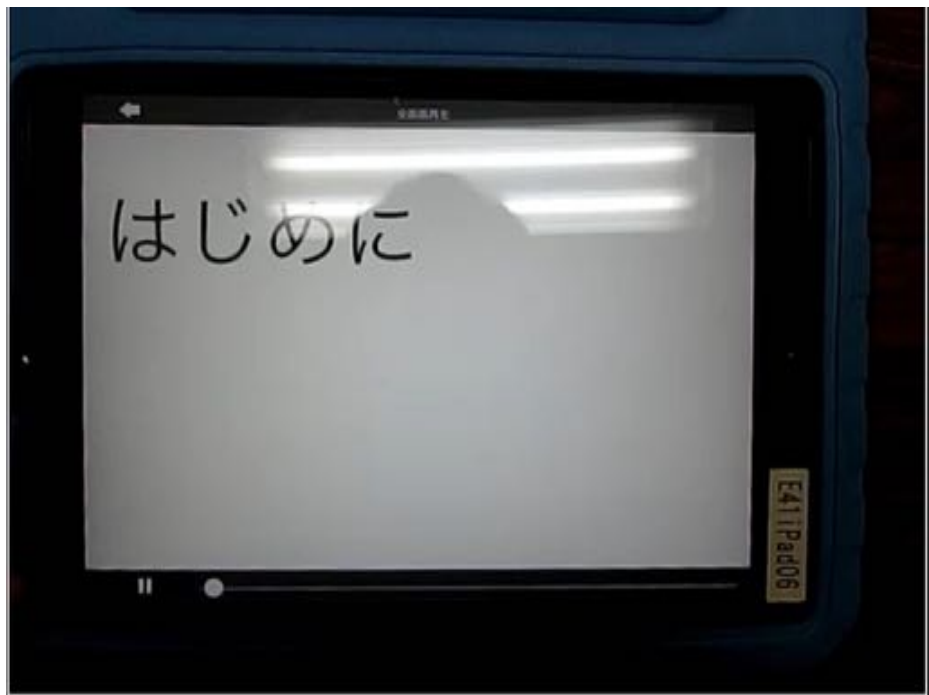
 すけっと セミナー

- ・同じ単元の中で、集団と個別指導を合わせて行い、児童に応じて指導目標と評価を設定し、教材を工夫した。
- ・説明文を読むことを通して、物事の順序性を知ることによって、他者に伝わりやすい伝え方を考えることにつながる目標や内容を設定した。
- ・一人一台端末を利用した。

4

4

児童が
まとめた
「作り方」
の紹介



5

実態の異なる児童への指導

すけっと セミナー



6

6

実態の違う児童への指導

すけっと セミナー

・一つの題材を扱う集団での授業

○集団で共有することができる

同じことをしている目的意識が生まれる

→学びあいの場面

○目標の立て方が少し難しく感じる。

それぞれのペースで学習することが難しくなる



7

7

実態の違う児童への指導

すけっと セミナー

・一つの題材を扱う個別の授業

○教材教具を工夫することで実態に応じて指導できる。

具体的に目標に対応できる。

○共有の意識が低くなる



8

8

実態の違う児童への指導

すけっと セミナー

集団と個別のバランス



大事！！

9

9

目標と評価の一体化

すけっと セミナー

→ まずは目標の設定

特別支援学校学習指導要領/小学校学習指導要領

単元目標	指導要領との対応
おもちゃ作りを通して、説明書などの文章の共通点について理解する。	(知識及び技能 3段階 イ(ア))
「読むこと」において、きつつきを作るために必要な材料や、作り方の手順や気を付けることなどを捉える。	(思考力, 判断力, 表現力等 2段階 B 書くこと イ C 読むこと イ)
進んできつつきやおもちゃの作り方について、順番を考えながら、内容を捉えて学習課題に沿ってまとめようとする。	(学びに向かう力, 人間性等)

10

10

目標・評価の一体化

すけっと セミナー

評価規準

知識・技能 (3段階イ(ア))	思考・判断・表現 (3段階B書くことイ) (3段階C読むことイ)	主体的に学習に取り組む態度 (学びに向かう力, 人間性等)
順番を表す言葉を文章の中から見つける。	きつつきを作るために必要なものや手順を理解している。	自分できつつきやおもちゃの作り方について、順番を気付けて読んだり、まとめようとする。
順番を表す言葉や記号を使って、説明する。	きつつきを作る中で、気を付けることを答えることができる。	
	文章を読み、きつつきなどのおもちゃを作ることができる。	

11

11

目標・評価の一体化

すけっと セミナー

評価規準、から実態によって複数の基準を作成している

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①：おもちゃ作りを通して、順番を表す言葉や記号に触れ、確認している。 ②：おもちゃ作りを通して、順番を表す言葉や記号に教師と一緒に触れている。(到達目標のレベル) ③：おもちゃ作りを教師と一緒に確認しながら行う。	①：「読むこと」において、きつつきを作るために必要な材料や、作り方の手順や気を付けることなどをヒントや支援をもとに考え、捉えている。 ②：きつつきの内容を読んで、作成するのに必要な材料や、作り方の手順や気を付けることなどを教師と一緒に確認する。 ③：きつつきの内容を読んで、教師と一緒に作成を通して確認する。	進んできつつきやおもちゃの作り方について教師やみんなと一緒に取り組み学ぼうとしている。

12

12

指導の工夫

すけっと セミナー

単元計画



きつつき学習計画									
学習内容									
学習内容を確認しよう。	どんな順番で作るのがきつつきをつくる材料を確認しよう。	コイルばねのつくり方を確認しよう。	コイルばねの取り付け方を確認しよう。	きつつきの取り付け方を確認しよう。	きつつきのつくり方を確認しよう。	おもちゃの作り方を順番を表す言葉を使ってまとめよう。	まとめたものを使って説明しよう。	おもちゃを作ってみよう。	

13

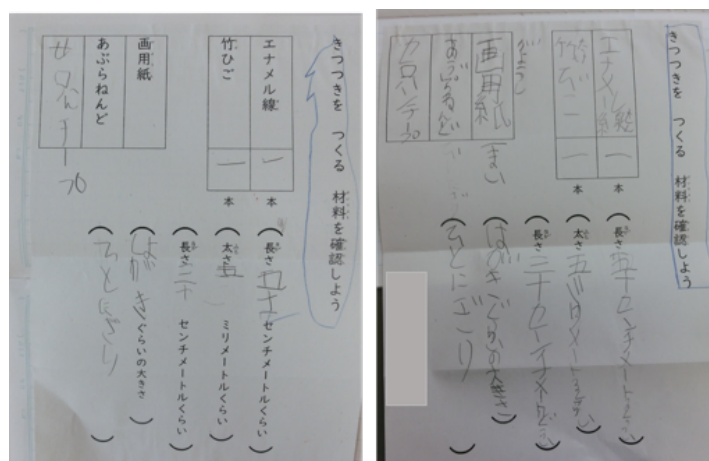
13

指導の工夫

すけっと セミナー

ワークシート

難易度を変えて
複数作成。
自分で選ぶ



14

14

指導の工夫・端末の利用

すけっと セミナー



15

15

単元計画の変更点・改善点

すけっと セミナー

- ・作業に集中してしまい、目標であるまとめる作業が中途半端になってしまった
- ・作業に集中！→まとめる作業が中途半端
(まとめることも目標の一つ)
作業の撮影をしてからまとめても良いこととする！
次の時間は作業と撮影を優先させ実施
(作業に集中し写真撮影を忘れがちになる児童には、声掛けを適宜入れることで撮影できた。)

16

16

評価

すけっと セミナー

○児童の評価

- ・タブレットの使用方法について、事前にほかの授業で行った→導入がスムーズになった
- ・おもちゃを作るという目的が児童にあったので、いつもより集中して取り組むことができた。
- ・授業後に作文を書く課題でも順番の言葉を使う姿が見られた。(般化)

17

17

知的特別支援学級での授業づくりについて、教師がすること

すけっと セミナー



児童がこれからの生活の中で、
身に付けておいて損のないこと、
そして大切なことを厳選
→学習指導要領を指針としながら、
どんな方法で、どんな教材を使ってと
考えていく。

18

18

知的特別支援学級での授業づくりについて、教師がすること

すけっと セミナー



自分で決める（自己決定）
のチャンス을できるだけ
作るようにする。

19

19

知的特別支援学級での授業づくりについて、教師がすること

すけっと セミナー



集団として全員が一緒のことを
するのではなく、
個々の目標を同じ場所で
学べる方法を考える。

20

20

知的特別支援学級での授業づくりについて、教師がすること

すけっと セミナー



目標達成が児童生徒がいる場合
やめてしまう前に・・・

どうしたらできるか、
その中で児童生徒の目標はないかを考え、探す

21

21

特別支援学級の担任のサポート

すけっと セミナー

学校の同僚，管理職
地域の特別支援学級の担任仲間，
教育委員会などの関係機関
特別支援学級担任をサポートする体制
→今後しっかり確立していく必要性



22

22

ご清聴ありがとうございました